

みどりの 通信



2023

8

NO.513

TAVI 100症例達成



※TAVIとは、経カテーテル的大動脈弁留置術と訳され、カテーテルを使って人工弁を植え込む低侵襲な治療法です。

2017年にTAVI治療を導入してから100症例達成しました。これからもより質の高い治療を提供できるよう、日々精進してゆく所存です。

80th
SEIREI MIKATAHARA

【理 念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL

〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453

TEL 053-436-1251 (代) FAX 053-438-2971

おしらせ



ボランティア募集

コロナ禍の間、活動を休止していたボランティアですが、5類感染症移行に伴い今年の秋頃を目処に再開することになりました。当院でのボランティア活動に関心をお持ちの方は、「ボランティア説明会」にぜひご参加ください。詳細につきましては追ってご案内いたします。

お申込み・お問い合わせ：

聖隷三方原病院ボランティア委員会 山口・戸松

TEL：053-436-1251（代表）

絵画展のご案内

聖隷厚生園讃栄寮 プチ宝石箱展を開催いたします。

期 間：9月1日(金)～9月29日(金)

※土・日・祝を除く

10:00～16:00

場 所：患者さんのための『医学情報プラザ』

どなたでもご覧いただけます。

是非お立ち寄りくださいませ。



がん、肝炎、糖尿病等の疾病により
長期にわたる治療が必要な求職者の皆様へ
～ハローワーク浜松による就職支援のご案内～

患者さんの悩み・不安にハローワーク浜松の就職支援ナビゲーターがアドバイスします！

日 時：8月16日(水) 10:00～12:00

場 所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

お問い合わせ：医療相談室

電 話：053-439-9046

※事前予約可能です。医療相談室にて予約ください。

あれ!? これって…
認知症？

認知症相談会

認知症の人には
どう接したらいいの？

認知症に関する相談を、認知症看護認定看護師、医療ソーシャルワーカーがお受けします。ひとりで悩まず、ご相談ください。

日 時：8月24日(木) 14:00～17:00

※事前予約制、30分程度／1件

場 所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

申し込み：医療相談室

電 話：053-439-0006

受付時間：月～金 8:30～17:00

主 催：聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター

人間ドックのご案内

聖隷予防検診センター

お申し込み：

0120-938-375

【予約受付時間】

◆月～金曜日 9:00～16:30

◆土曜日 9:00～12:00

がん相談支援センターからのお知らせ

がん患者さん等のための 就労に関する相談会

静岡産業保健総合支援センターから派遣された両立支援促進員と当院の相談員がご相談をお受けいたします。

予約制

日 時：10月12日(木) 13:00～16:00

場 所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

対 象：患者さんご家族

おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？おしゃべり会はみなさんで体験をわかちあい、支えあう会です。

日 時：8月17日(木) 13:00～14:00

場 所：Web開催

内 容：Web会議ツールを使用して、Web上でお話をいたします。詳しくは病院HPをご覧ください。

参加費：無料(Web通信に伴う費用につきましては、ご利用者様負担)

申込み：がん相談支援センター(053-439-9047)へお電話にてお申込みをお願いします。

最新情報はこちら→



お問い合わせ：よろず相談地域支援室内
がん相談支援センター
電 話：053-439-9047

～ 夏の食中毒 ～

食中毒の原因には細菌やウイルスがあり、夏場は高温多湿な状態が続くため細菌がもたらす食中毒が多く発生します。細菌による食中毒として、発生件数や重症例が多いことで知られる「カンピロバクター」や「腸管出血性大腸菌（O157等）」によるものなどがあります。

時には命に関わることもある食中毒を防ぐために、これからの季節は特に注意していきましょう。

食中毒予防のポイント

①食中毒予防の3原則を守りましょう！

【菌をつけない】

- ・手洗いは丁寧にこまめに行う。
- ・洗える食品はしっかり洗う。
- ・肉や魚はしっかり包んで他の食品とくっつけないようにする。
- ・肉や魚は専用の容器を使用するなど、器具を使い分ける。

【菌を増やさない】

- ・生ものや料理はなるべく早く食べる。
- ・保存するときは冷蔵庫・冷凍庫にすぐしまう。
- ・冷蔵庫内は7割程度に抑え詰め込みすぎないようにする。

【菌をやっつける】

- ・料理するときはしっかり加熱する。（中心温度75度1分以上を目安に）
- ・食器や調理器具はきちんと消毒する。

②美味しく予防しましょう！

梅干しや薬味野菜のしそ、にんにく、ねぎ、生姜、わさびなどの食品は抗菌、防腐作用があり、食中毒予防におすすめの食品となっています。特に調理してからすぐに食べることができないお弁当に取り入れるのはおすすめです。

暑い日が続くと食欲も落ちやすくなり、免疫力低下の要因となります。1日3食バランスよく食べることで、衛生的な食事を心掛け、暑さに負けずに夏を乗り越えましょう。

歯科の2大疾患をご存知ですか？

みなさんは齲蝕（うしょく）と歯周病という病気をご存知ですか？ 齲蝕は虫歯、歯周病は歯槽膿漏しそうのうろうとも呼ばれることがあります。口の中の細菌によって引き起こされる感染症で、歯を失う原因の9割を占めるのがこの齲蝕と歯周病とされています。

齲蝕は細菌から出される酸によって歯が溶けてしまう病気です。歯の中心にある神経まで達すると強い痛みが生じますが、その後も放置してしまうと神経が死に、歯根の先まで細菌が侵入して膿が形成されます。最終的には歯根だけが歯茎の中に残る状態となってしまうこともあります。

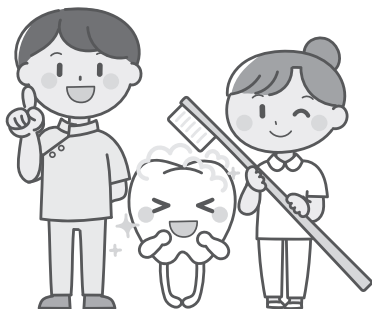
歯周病は細菌の感染によって歯茎が腫れたり、歯が抜け落ちたりする病気です。口の中には約700種類の細菌がいると言われていますが、不十分な歯磨きなどによって細菌の塊である歯垢や歯石ができると歯茎に炎症が生じ、歯茎から血が出

口ですか？

歯科
うめだ よしこ
部長 梅田 慈子

たり歯が揺れたりする症状がでできます。

口の中の問題だけにとどまらず、齲蝕と歯周病が入り口となって口の中の細菌が体内に侵入してしまうことで心臓や肺などの病気を引き起こしてしまうこともあります。また、齲蝕や歯周病が放置されたままの場合、他の病気の治療の妨げとなってしまうこともありますので日頃から口の中を健康にしておくことはとても大切です。毎日の適切な口腔ケアと定期的な歯科受診を行うことで齲蝕と歯周病を予防し、健康なお口を維持していきましょう。



今月の部門紹介

歯科



お口を通じて入院中の病気の回復支援が
少しでも出来るよう努めております

当院歯科は基本的に外来診療を行っていないため、ご存じない方も多くいらっしゃるかもしれません。一般的に病院の中にある歯科は外科を専門とする口腔外科であることが多いですが、当院は虫歯や歯周病の治療、歯の修復（補綴治療）ほていちりょう等を主とした一般歯科を担当しております。入院中は病気や治療により歯や歯茎、口の中の粘膜にトラブルが生じることが少なくありません。口腔トラブルによって食事摂取や病気の治療自体に影響を及ぼしてしまうこともあります。当院の歯科医師、歯科衛生士は入院されている患者さんの口腔トラブルを解決することで病気の回復の支援が出来るよう、日々診療を行っております。

日中火災総合訓練を実施しました

7月14日に日中火災総合訓練を行いました。今年の目標は、①初動活動を的確に行うことができる、②現場指揮者がリーダーシップを発揮する、③応援者を有効活用し患者さんの避難を速やかに行うことでした。事前確認・訓練の甲斐もあり当日は大きなミスもなく訓練を終えることができました。今後もいつおこるかかわからない災害に対し、日頃から意識を高め業務を行っていきます。



看護外来のご案内

看護外来では、患者さんやご家族がその人らしい生活をスムーズに送れるよう、専門的な知識、技術を持った看護師が相談をお受けしています。

看護外来は予約制です。

- ・ ストーマ外来
- ・ がん看護外来
- ・ 皮膚・排泄ケア外来
- ・ 助産師外来
- ・ フットケア外来
- ・ 母乳外来



お問い合わせ先

よろず相談地域支援室（看護相談室）

TEL:053-436-1251（代）